

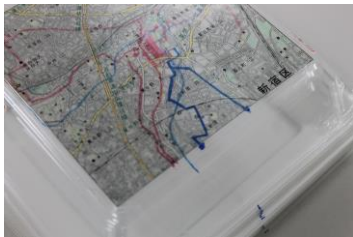
平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 一般社団法人 東京下水道設備協会	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 (株) 水道産業新聞社 企画出版部 生地 央 【電話：03-6435-7644、Fax:03-3438-0025、 E-mail shoji@suidousangyo.jp】
代表者氏名 一般社団法人 東京下水道設備協会 会長 片岡 啓治	(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称

部門名 広報 部門	事例名 立体地図 東京透視模型“みえ～る君” (学習用キット)
--------------	------------------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

(一社) 東京下水道設備協会は、(株) 水道産業新聞社、(一財) 日本地図センターと協働し、下水道展'15東京会場で、通常のブース展示に加えて、広く下水道への関心を高めることを目的に、主に子供たちを対象として、下水道管路図と通常の地図を立体的に重ねられる地図模型を作るイベント(2日目の午後半日)を実施した。このイベント用に企画、制作したものが東京透視模型“みえ～る君”である。



東京透視模型“みえ～る君”

今回は、東京都下水道局の落合水再生センター周辺をモデルケースにした。



<キットの内容>

- ①説明書、なぞり用地図 ②透明地図シート
- ③透明なフタ(7枚) ④土台(1枚)



出来上がった地図を自由に重ねる

エントリー事例の特徴 (施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

【東京透視模型“みえ～る君”のねらい】

普段、見えない下水道を見える化できるか? 見える化を通じて、下水道に関心を持ってもらえないか? そこで、下水道管路図と様々な地図を立体的に重ねることを考えた。東京透視模型“みえ～る君”を作り、出来上がった地図を自由に重ねることで、下水道関連施設が街のどのような場所にあるのか、下水道が地形を生かして作られていること、さらに、再生水の管路も地図に入れることで、下水処理場の、いろいろな役割に気付くことができる。

【地図模型作りイベント実施して】

<参加者:24名、うち小学生以上2名>

面白かった:17名、勉強になった:23名、また作りたい23名

付添いの保護者からは、「簡単にわかりやすく作ることができました」「見える工夫が良かったです。大人用にひとつ欲しかった」、「機会があったら落合水再生センターに行ってみたい」、「普段、何気なく使っている水のこと身近になったと思います」と好意的な感想が寄せられた。イベント会場以外でも下水道展会場で会期中配布。イベントと合わせ用意した200あまりのキット全てが配布された。



イベント会場の模様

【今後の展開の可能性】

地図模型を作った子供や保護者からは、好意的な評価を得ることができた。また、東京都下水道局を通じて、小学校の先生方にも提供。地形的に特徴のある下水処理場を中心に、モデルケースを増やし、地域住民、あるいは子供たちと下水道関係者とのコミュニケーションツールとして広め、進化させていくことにしている。

付属資料の提出	<input checked="" type="radio"/> あり ・ なし (どちらかに○)
---------	---